

2026 年度 JICA 教員研修
「多文化共生の文化」共創プログラム
募集要項

1. 背景

国際協力機構（JICA）は日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関であり、約 150 の国・地域で国際協力を展開しています。日本国内においては、これら国際協力を通じて得た知見を生かし、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す学習指導要領などの学校教育の動向を踏まえ、「教師海外研修」「施設訪問」「出前講座」「開発教育メールマガジン」「開発教育教材作成」など国際理解教育/開発教育を支援する様々な事業を行っています。

また、JICA は開発途上国における国際協力の知見や国際経験豊かな人材、JICA が作成した様々な教材等のリソースを多く有しており、これらを教育現場に還元することを通じて、多様性を尊重し共生社会の担い手を育てる取り組みを側面支援しています。

本研修は、社会の多様化が進む中で、異なる文化的背景をもつ人々が互いを尊重しながら共に生きるための学びが、学校をはじめとする教育現場でより一層もとめられている現状をふまえて実施します。児童生徒を取り巻く学校や地域社会を題材に、多文化共生をどのように丁寧に進め、実践につなげていけるのかについて、JICA の持つ多様な知見やリソースを参考にしながら、参加者同士の対話を通じて考え、共に学び合う研修です。

2. 研修の目的

- ・本研修は、JICA が国際協力を通じて蓄積した知見・教材・施設等を活用し、教員を支援することを目的に実施します。具体的には、外国につながる児童・生徒の文化的背景や、その根底にある社会構造への理解を深めるなど、学校現場の多文化的状況を出発点に、児童・生徒の学びを開発途上地域の経済・社会課題の理解へとつなぐ開発教育の実践を促進することを目指します。

- ・これにより、参加者は、多様な背景をもつ児童・生徒との関わりから、世界とのつながりを主体的に学ぶ授業などの教育的な取り組みへと発展させることが期待されます。そしてその結果、国際協力や開発途上国に関する理解が学校教育の中で深まり、将来的な国際協力の担い手の裾野拡大につながることも期待しています。

- ・参加者は本研修での学びをふまえ、自身の所属先で「多文化共生の文化」を育むために今後取り組みたい活動を考えます。そして、その活動を出発点とし、児童、生徒が地域や学校における多様性への理解を深めるとともに、開発途上国地域の経済、社会への関心と理解へ、学びを広げるアイデアをまとめます。そして、それらは「誰もが自分を発揮できる学校づくり～世界とつながる多文化共生アイデア BOOK」として編纂されます。

3. 研修のテーマ

「多文化共生の文化」を創るために、私たちにできることは何か？～国際協力と世界とのつながりから、学校での学びをアップデートする～

4. 研修日程

前半研修 2026 年 10 月 3 日(土) および 4 日(日)

後半研修 2026 年 10 月 24 日(土)

5. 会場

前半研修 JICA 横浜（神奈川県横浜市中区新港 2 丁目 3-1）

後半研修 JICA 市ヶ谷ビル（東京都新宿区市谷本村町 10-5）

6. 研修概要

	日時	内容（予定）
前半研修	2026 年 10 月 3 日（土） 10:00-17:30	・ 研修趣旨、概要説明 ・ 自分と多文化共生/多文化共生の取り組みについての対話、事例共有 ・ JICA リソースに触れる（海外移住資料館訪問） ・ 国際協力や開発教育とのつながりについての対話
	2026 年 10 月 4 日（日） 10:00-17:00	・ 研修テーマに関する講演（公開セミナー）*講師選定中 ・ ワークショップ（テーマ）：学校における「多文化共生の文化」を創るために何ができるか？/そのためにどんなことができるか？/国際協力と世界とのつながりから、学校での学びをアップデートするには？
後半研修までに		・ 2 日間の研修をふまえ、各自が所属先で「多文化共生の文化」を創るために取り組んでみたい活動を考え、アイデアをまとめる。またそれがどのように国際協力や開発教育につながるかを探究する。 ・ 学校現場における多文化共生の現状を出発点に、外国につながる子どもたちやその背景にある国・地域と日本との社会的・経済的なつながりへの理解を深める。その理解を土台に、一人ひとりが尊重される「多文化共生の文化」を創造するための取り組みを考える。
後半研修	2026 年 10 月 24 日（土） 10:00-17:00	・ 学校に「多文化共生の文化」を創るとは？そのためにどのような取り組みができるのか？ について、アイデアを共有する。 ・ 共有したアイデアについて質疑応答や、お互いにコメント、フィードバックを行う。 ・ JICA リソース等を参考に取り組みのアイデアを広げる。
2026 年 11 月中旬までに		・ 研修で得た学びをもとに、各自が所属先で「多文化共生の文化」を創るために取り組んでみたいアイデア（JICA リソース等活用）をブラッシュアップし、成果物（冊子）用の原稿にして提出する。

* 研修のプログラム内容や終了時間に変更になる場合がありますこと、ご了承ください。

* 研修のプログラム詳細は参加者決定後に、運営事務局からあらためてご案内します。

7. 実施体制

主催：独立行政法人 国際協力機構（JICA）広報部地球ひろば推進課

運営事務局：一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

* 運営事務局：研修の円滑な実施運営のため、JICA が委託する外部機関で構成する運営事務局を設置し、同事務局を通じ、研修参加者に対する連絡・調整を行います。

8. 募集人数

20 名（予定）

9. 応募条件

以下の①に該当するとともに、②～⑥を満たす方。

- ① 多文化共生に関する取り組みを行う、全国の国公立、私立の小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、小中高一貫校、高等専門学校、特別支援学校等の教員または学校管理職であること。
- ② 本研修の趣旨・目的を十分理解し、上記の全プログラムに参加できること。
- ③ テーマ【「多文化共生の文化」を創るために、私たちにできることは何か？～国際協力と世界とのつながりから、学校での学びをアップデートする～】に沿って、所属先における今後の活動の検討や成果物作成に意欲的に取り組むこと。
- ④ 本研修を通じて得られた学びや成果を、所属する学校内及び各地域の教育委員会、各種教員ネットワーク（研究会、勉強会等）の場において積極的に共有・紹介する意欲のあること。
- ⑤ 本研修参加後、JICA 国内拠点や各県所在の JICA デスク（国際協力推進員）等と連携・協力しながら、国際理解教育/開発教育を普及・促進する意欲があること。
- ⑥ 研修参加後 2 年間、国際理解教育/開発教育推進のための自身の取り組みに関する報告書を JICA へ提出すること。（年 1 回：形式自由）

10. 応募方法

応募特設サイトにアクセスし、必要事項を記入のうえ、応募書類を添付してご応募ください。

応募特設サイト：<https://j-gift.org/jica-tabunka-appform/>

応募書類

必須提出：以下の 2 点をそれぞれ 500～800 字程度で Word 等で作成してください。

- ① 本研修への応募理由
- ② 学校における、異なる文化背景や価値観をもつ児童生徒に配慮した学級・学校づくりにかかる取り組みに関してご自身が感じている課題

任意提出：以下の内容がわかる資料を添付してください。

- ③ これまでに自身が実施したり関わった多文化共生に関する授業や取り組み事例

11. 応募締め切り

2026 年 8 月 12 日(水)午前 10 時

12. 選考結果について

9 月上旬までに JICA 地球ひろば・教員向け研修運営事務局より応募者全員にご連絡します。

13. 参加費用

以下の経費について、当機構の旅費規定に基づき、JICA が負担します。

① 第 1 回および第 2 回研修参加のための国内移動（自宅～研修場所）に係る交通費および宿泊費（宿泊費は対象者のみ）

② 宿泊費は 8,200 円/泊を上限として JICA が負担します。（超過分は自己負担）

* 研修参加における食費、その他個人的な費用は参加者本人の負担となります。

14. その他

- 参加者の研修中の扱い（年休／研修（職専免））などは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- 本研修では、JICA における労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- 本研修を通じて作成される成果物は、研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有します。また、他の教員にも広く参照・活用されるよう配布するほか、JICA 地球ひろば HP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じて紹介する場合がありますので、ご協力をお願いいたします。
- 個人情報に関するお願い：応募時にいただいた個人情報は、利用の可否を確認のうえ、本研修以外の JICA の研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICA の内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理いたします。<https://www.jica.go.jp/joureikun/act/frame/frame110000019.htm>
- 学校教育を支援する取り組みとして、雑誌・書籍への寄稿・取材、教材制作へのアドバイス等を研修参加者へお願いする場合があります。また、研修参加者の皆様に研修やイベント参加の情報提供を行っております。
- 研修参加後の国際理解教育/開発教育推進のための取り組みについてアンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いします。

以上

<問い合わせ先>

一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)
(JICA 地球ひろば・教員向け研修運営事務局)

TEL：03-4577-6767 E-mail：jica-edu@j-gift.org